

台風19号 緊急市民アンケート 記述一覧 栗橋地区全体

【1】「避難勧告」を何で知りましたか。(Fその他)

内容	件数 栗小	件数 西小	件数 南小	件数 合計
エリアメール(加須市からもきた)、スマホ緊急速報等、国交省ライブカメラ		18	2	20
市役所に電話した。		2		2
警察の広報が聞こえた。(消防?)		1		1
避難所で知った			1	1

【1】「避難勧告」を ②知らなかった その理由

内容	件数			
勧告の以前に避難していた。		2		2

【1】防災情報の知らせ方で改善点はありますか。

内容	件数			
防災無線が風で聞こえなかった(聞こえるよう改善して)。	52	93	20	113
自治会・自主防災組織との連携・活用。「声かけ」「連絡網」の整備	12	18	2	20
スマートホン・携帯に強制配信(エリアメール・エルアラート)。	3	7	1	11
家庭用で防災無線が聞けるようにする(無線受信機、携帯アプリ、有線放送等 防災ラジオ)。	14	8	4	26
半鐘を活用する(内2)。サイレンなどの音を繰り返し鳴らす。	17	15	1	33
広報車による避難の呼掛け強化(サイレンを鳴らしながら・もっとこまめに等)	11	18	4	33
防災無線内容は電話で聞けることの周知を。	1	1		2
市役所に避難所情報を聞いたが、折り返すといって返信が無い。	0	1		1
情報弱者(老人等)への対策を具体的に	2	2		4
市のホームページを分かりやすく、見やすく		1		1
テレビで放送する			2	2
電話で確かめる			2	2

【2】避難情報を出す時期について改善すべきことはありますか

内容	件数			
避難準備は早め早めに。避難勧告は夜中でなく明るいうちに行なう。道路の渋滞を考慮した時間に	43	14	48	105
加須市との連携をとって発令する。	0	1		1

【3】避難について伺います ①避難した。その理由は

内容	件数			
大利根のパトロールの呼掛けで、加須の消防団に促されて。	0	2		2
利根川の水位をネットで見て		1		1

【3】避難について伺います ①避難しなかった。その理由は

内容	件数			
避難所の方が、自宅より川に近い場所にあるため。	0	2		2
水位が下降傾向になったから		1		1
雨・風・よるのため。		1		1
役場に電話して、自宅の2階に留まった。		1		1

【3】避難について伺います ④避難したかったが、行けなかった。その理由は

内容	件数			
高齢で動きが鈍い、不自由。家族に高齢者・身障者が居たから。	3	7	1	11
避難所が混雑していたので帰宅。混んでいると聞いて止めた。避難所が開設されていなかったため自宅に戻った。	6	4		10
避難所が遠くて行けない。	1	3	1	5
ペットが居たため。	3	7	2	12

【3】避難について伺います ④ 避難された場所はどこですか その他

内容	件数		
避難所が開設されてないため、別の避難所に行った	0	17	17
満杯で入所できず、別の場所に廻された。	0	4	4
親戚。(甥の家、子供のところ)	0	3	3

【3】避難について伺います 避難所について改善すべきことはありますか(⑥問題点)

内容				
避難場所が少ない。避難所に避難者が多すぎ。	21	47	43	111
避難所を増やす。(旧学校の建直、公民館、しずか館、イリス、BG、高層建築物全、民間の高建物、堤防の広い場所、国交省の栗橋出張所(旧舎)、圏央道の高架下、スーパーの立体駐車場やトイレ利用、)	13	16	2	31
避難場所を広域に他縣市、各地に確保しておく。	1			1
	9	3		12
【避難所の場所】 浸水しない場所に避難所を設定する。	7	5		12
自宅から川に近い避難所に向かうのはおかしい。	0	2		2
栗橋小は利根川に近い避難所から外す。浸水深が深く危険。疑問だ。	0	5		5
浸水深より高い箇所の確保。洪水時の避難所として体育館は問題。	3	14	1	18
避難所によって避難者の粗密がある。避難場所の指定はではないのか?		3		3
バスでの避難など計画はあるのか			1	1
【避難所運用】栗橋高校の開設 を市が適時・主体的に行なえるようにする	9	34		43
(入れないと困るので)地区毎に避難所を決める。	6	4		10
避難所の駐車場が狭い。(路上駐車を余儀なくされた)。避難所近くでの渋滞対策。	3	4		7
洪水の場合、早めの開設を		1		1
【所内運用】 避難所の受け入れ体制・職員不足。役割分担不明(腕章着用)。	10	12		22
定期的な情報提供が必要。	1	9		10
配布物(毛布・水)の均等配布。	5	5		10
ペットのことも考えた避難所の運営。	4	13		17
赤ん坊連れ家族への配慮(授乳など)がほしかった。	0	1		1
個票が配られたが回収されなかった。今後のためにも必要では。	0	1		1
雑魚寝の解消。		1		1
電気・水道・ガスが誰でも使えるように。		1		1
受付後に必要なものを取材して。		1		1
寒いのに、勝手に窓を開ける人がいた。		1		1
【設備】 膝が悪く、和式トイレがきつい。	1	2		3
介護者、足の不自由な(老人等)者にとっては、階段で3・4階はきつい	1	3		4
防災備蓄品を避難所の高い箇所に格納する。停電しない設備を備える。	0	3		3
防災備蓄品の充実。敷きマットの用意。毛布や非常食の配布。冬季の事も考えて。	0	13		13
長期になれば、水・食料・トイレなどが心配。長期のことも考慮。	0	3		3
テレビやラジオの設置	1	2		3
【その他】 研修などによる情報の共有化。	0	1		1
避難行動の指揮が取れる民間人の育成。	0	1		1
避難所の看板を付けて	0	1		1
何所に避難すればよいか不明。避難所の場所が分からない		2		2
ポートを設置する。		1		1

内容	件数			
【4】ハザードマップ 避難計画のあり方で久喜市に望むことなど聞かせてください				
マップの避難所の区別が分かりにくい。	1	7	7	15
地震時避難所と洪水時避難所を分けて指定する。	1	2		3
マップに避難所の収容人数を書く。	0	2		2
分かりやすい地図にして。	0	1		1
個人任せにせず、周知徹底			2	2
マップでは水深イメージができない。電柱に水色テープを巻けば一目で分かる。	2	1		3
【その他】役に立たない(改善せよ)。				
ハザードマップを配布して終わりにしない。周知徹底。	0	3		3
開設されない避難所を記載するな。市長、市議、行政の責任を問う、再発行せよ	0	3		3
マップに書いてあることをしっかり実行して。		1		1
再度マップを配布して。毎年改定して出して(配布)。		2		2
ハザードチラシ配布やハザードポスターの掲示		1		1

【5】台風19号の経験から、一人でも多くの市民の命を守るために 必要なこと

内容	件数			
【防災計画】防災計画は、広域避難を中心にすえて作りかえる。	0	2		2
隣接自治体・隣接県との連携を緊密化(勧告・指示など)。	0	4		4
避難の注意・準備・勧告・指示の発令基準の見直しとその告知・徹底が必要。	0	1		1
実際に洪水被害にあった自治体、先進事例を学んで防災計画をたてる。	0	2		2
利根川の氾濫は、東大震災以上の被害が出ることを考えて計画を	0	1		1
自助・共助・公助の連携をスローガンに終らせず、具体化した計画の作成。	0	1		1
国交所による出前講座を土・日曜日にも開催して。講習会を開いて	0	2		2
台風は前から分かる、事前の準備が大切。	0	3		3
支所の水位計を直す。いつでも見られる、スーパーに利根川の水位系を設置する。	0	2		2
上流の大雨情報やダムでの放流、水位などを知らせて。	1	10		11
避難情報発令前に水位や行政の動き、また、今後の見込みなどを発信する。	0	9		9
避難準備の前に、注意喚起情報の発信。避難準備段階で避難所開設情報の発信	0	2		2
総合情報ネットワークの整備。細かなネット情報の発信。時期の問題ではない。	0	2		2
正確な情報を早く伝える。	0	1		1
確実な周知の方法に改めるべき。こまめに 早めに	0	3	4	7
防災無線は聞こえず、パトロールは回らず、自治会の呼びかけも無く、避難先は満杯。防災の練り直しを。市の防災体制ができていない。市の意識改革 生きた防災計画に	1	2	16	19
久喜市統一でなく、地域別に対応を考える		2		2
他所との連携			2	2
【公助】要支援者への対応を十分にすべき。バスによる送迎が必要。	7	13		20
避難所までの行き方(車・徒歩)が問題。	0	1		1
要支援者一人ひとりに適したケアの具体化。	0	2		2
要支援者見守り支援登録したが何もなし、何の為の制度か。登録抹消した。2032		1		1
外国人対応が必要。		1		1
動ける人だけが助かる。要支援者を抱えて何所に行けばよいのか教えて。2037		1		1
【共助】自治会などによる情報交換が必要。自治会による避難補助。	2	9		11
日ごろからの訓練が大切。地震/洪水に対する訓練を行なう。	2	8		10

【自助】 防災備蓄や緊急持出し物の洗い出しなど、普段の準備が必要	2	4		6
各者が防災をもっと考えて。防災意識を高める機会を。危機感が無い。	1	5		6
避難所に持参するものを知らせて(回覧板・広報)。	6	1		7
近所どうしの声かけ。	1	2		3
自分の命は自分で守ることを認識する、市役所に頼ると死んじゃいますよ。		1		1
【河川改修】 河川内立木の伐採、川の底さらい。強化堤防の加速。堤防の嵩上げ。		13		13
中小河川の改修も進めて。	6	1		7
スーパー堤防の再検討。		1		1
【その他】 市の職員の緊張・危機意識が足りない。	3	2		5
防災を担当する市職員も同じ市民。配慮を十分に。	0	1		1
栗橋地域での利根川決壊予測箇所は？	0	1		1
避難できない避難所と受け入れ体制の無い避難所。事後の市の対応が見えない。	0	2		2
引っ越したいくらいだ！ 2109				
避難グッズの市民への義務付け。	0	1		1
防災グッズを配布して	0	2		2
地域に3階以上の建物が無い。	0	1		1
人命第一で(対策を)考えてほしい。	0	5		5
とにかく、早めの対応が必要。	0	2		2
避難してきた人が早朝に帰宅していた。なんのために避難してきた。	0	1		1
避難にデマンドの利用を	0	3		3
今回は晴れていたから避難できたが、降雨の中ではできない(徒歩)。		2		2
県知事・市長は住民と話し合うべきだ、危機感を持って。		1		1
新しく住み始めた人にも(洪水のことを)知ってもらわなければならない。		1		1
駅西口には避難所が無い。みんな死ねと言うのか。		1		1
今回の台風で堤防はダメージを受けたのか。		1		1
被災した時を考えた、保険のアドバイスを		1		1
若者にリーダーシップを		1		1
今回、避難した人数を避難所毎に報告をして。2144		1		1
【その他】 温暖化で大雨が頻繁に起きることが考えられる。取り組み早期・強化	0	1		1
伊勢湾台風で2階まで海水、あたりが全滅。水害の怖さを知っている。	0	2		2
被害にあわれた方を見ると胸が痛い。最近の気象を見ると明日はわが身かも	0	1		1
このような調査は、自治体が行なう必要がある。	2	3		5

以上